

# 道 路 整 備 の 現 状

## ～ 目 次 ～

1.	道路交通の特性	1
2.	経済活力の増進と都市の再生	
	(1)円滑なモビリティの確保	5
	(2)物流の効率化	12
	(3)情報化の推進	13
3.	生活の質の向上	
	(1)安全な生活環境の確保	16
	(2)快適な生活空間の形成	18
4.	個性ある地域形成と国土の有効活用	
	(1)広域交流・地域間連携の促進	20
	(2)安全・安心な暮らしの確保	22
5.	環境を重視した持続可能な経済・社会の構築	27
6.	効率性・透明性の確保	32

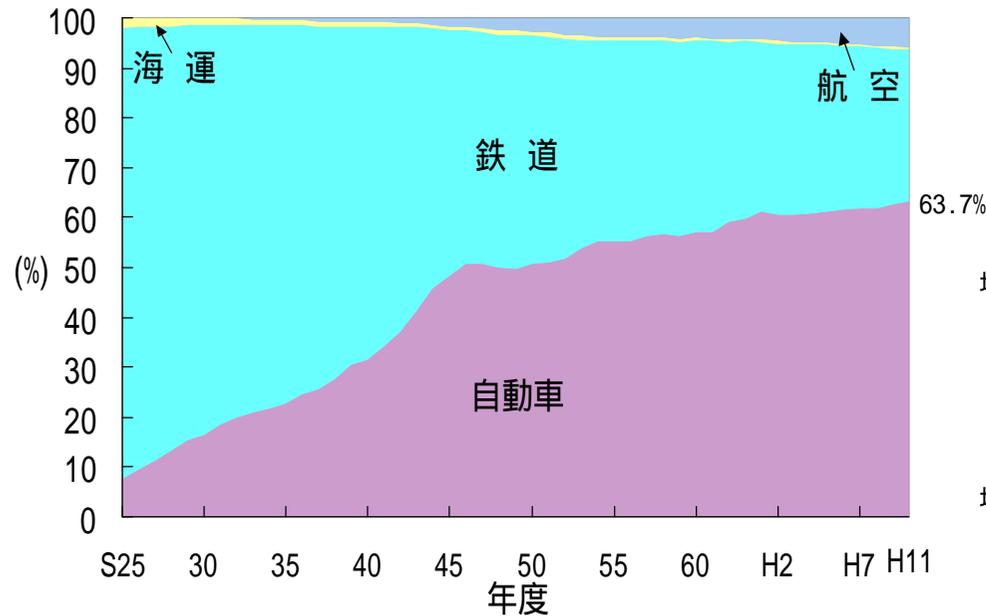
# 1. 道路交通の特性

自動車交通の占める割合は年々増加（旅客）

自動車交通の分担率：旅客（人キロ）：22.8%（S35） 63.7%（H11）

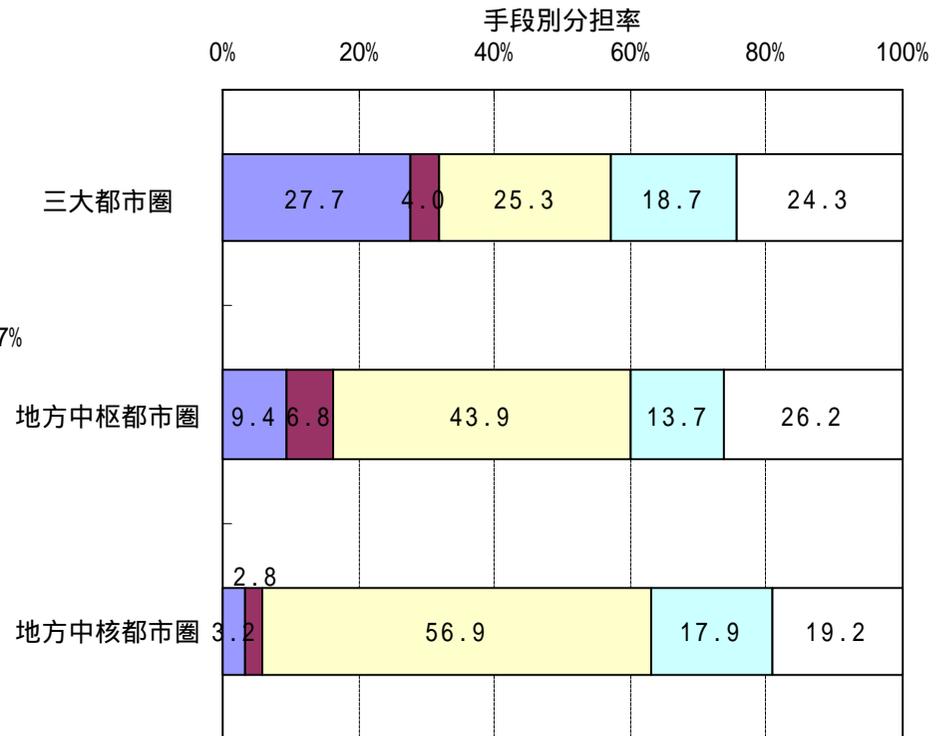
【輸送機関別輸送分担率の推移（旅客）】

[旅客：人キロベース]



出典：国土交通省「陸運統計要覧」（各年度）  
 注：62年度以降の自動車には軽自動車を含む  
 自家用貨物車含まず

【都市圏別輸送手段別分担率（旅客）】



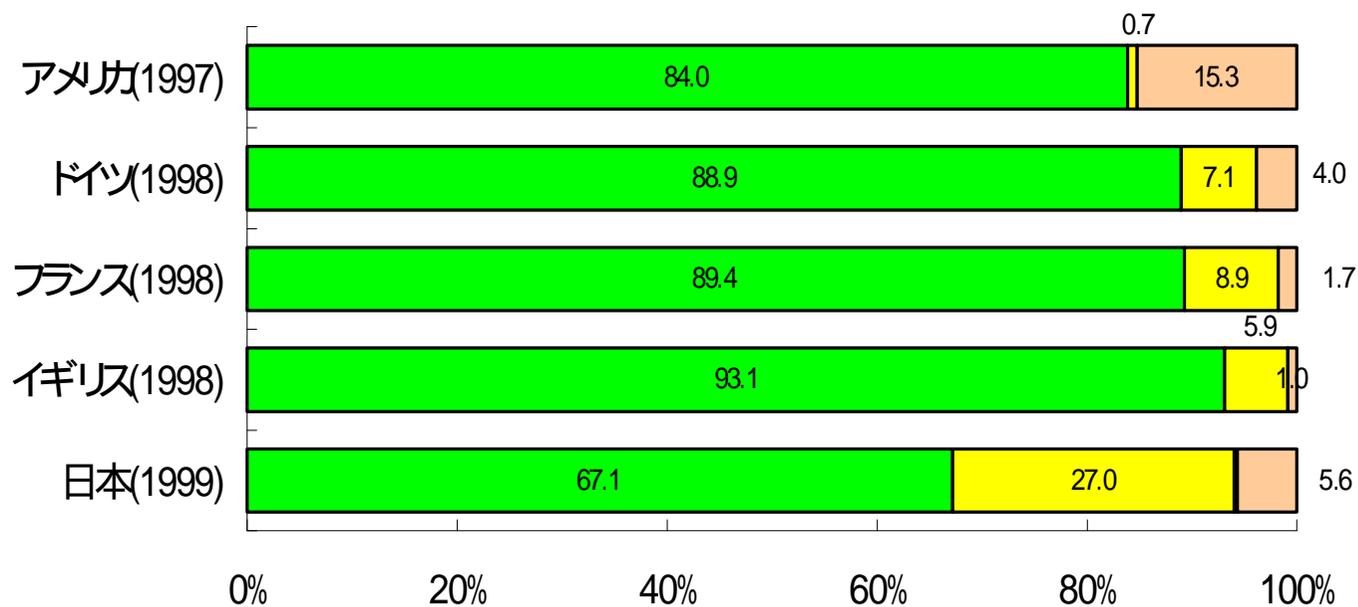
■鉄道 ■バス ■自動車 ■二輪車 □徒歩

出典：国土交通省「平成11年全国都市パーソントリップ調査」

各国とも、旅客輸送における自動車交通の占める割合は大きい。

### 【輸送機関別輸送分担率の国際比較（旅客）】

[ 旅客：人キロベース ]

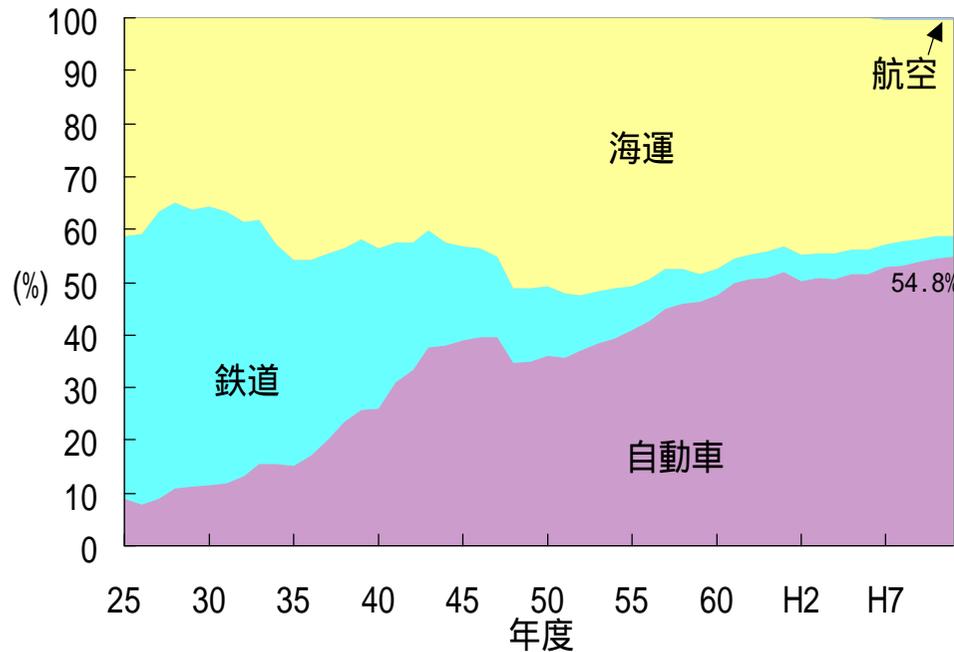


出典：日本 国土交通省「陸運統計要覧」（平成12年度版）  
アメリカ National Transportation Statistics 1999  
イギリス Transport Statistics Great Britain 1999  
フランス Les Transports en 1998  
Mement de Statistiques des Transports 1997(仏航空)  
ドイツ Verkehr in Zahlen 1999

# 自動車交通の占める割合は年々増加（貨物）

【輸送機関別輸送分担率の推移（貨物）】

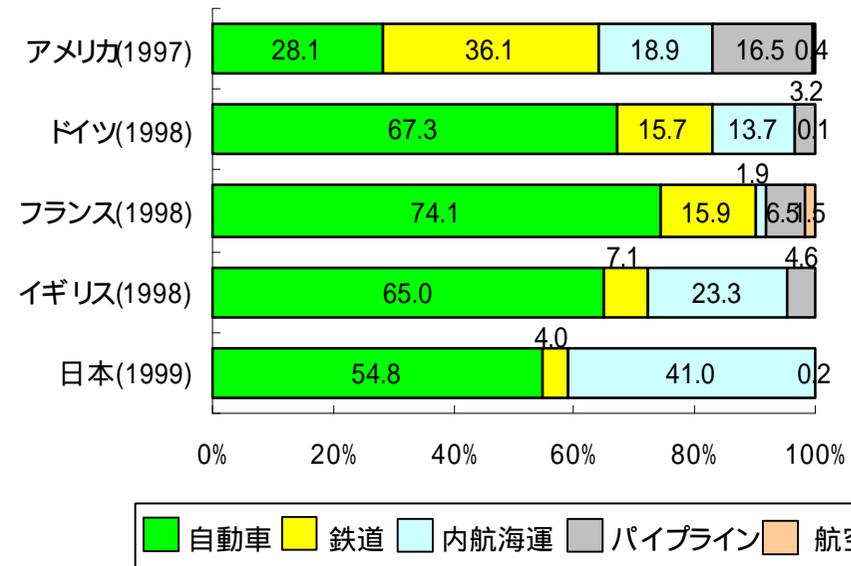
[貨物：トンキロベース]



出典：国土交通省「陸運統計要覧」（各年度）  
 注：62年度以降の自動車には軽自動車を含む  
 自家用貨物車含まず

【輸送機関別輸送分担率の国際比較（貨物）】

[貨物：トンキロベース]



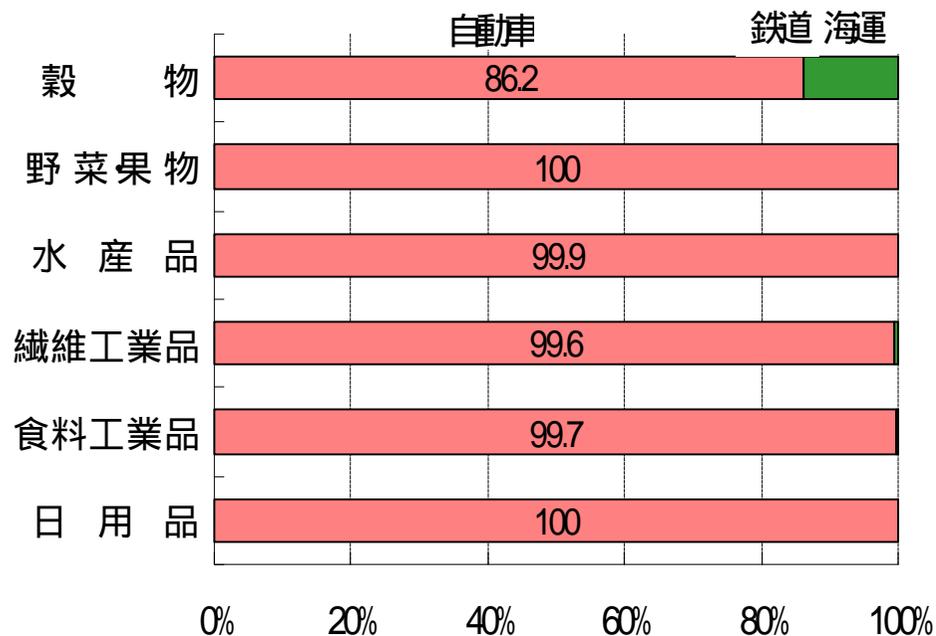
出典：日本 国土交通省「陸運統計要覧」（平成12年度版）  
 アメリカ National Transportation Statistics 1999  
 イギリス Transport Statistics Great Britain 1999  
 フランス Les Transports en 1998  
 Memento de Statistiques des Transports 1997(仏航空)  
 ドイツ Verkehr in Zahlen 1999

日常生活に必要な主要品目の輸送のほとんどを自動車輸送が分担

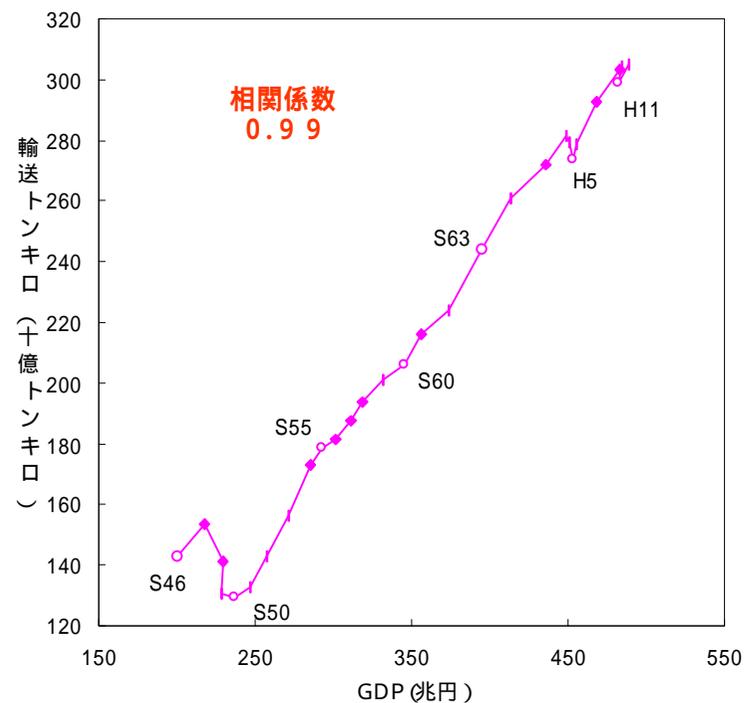
GDPと輸送トンキロは相関が高い。

品目別輸送分担率：野菜・果物、日用品：100% 水産品：99.9%

【品目別機関別輸送分担率(平成11年度・輸送トンベース)】



【GDPと自動車輸送トンキロの相関】



出典：国土交通省「陸運統計要覧」(平成12年度)